

第2次高砂市商業活性化基本計画（素案）についてのパブリックコメント（意見募集）の結果

募集期間 令和3年7月21日（水）から令和3年8月19日（木）まで
基本計画に関する意見数 19件（提出者数 3人、3団体）

※ご意見に対する市の考え方について回答いたします。

	意見の趣旨	項目	市の考え方	案の修正
1	若年の経営者に参画してもらえ る機会を創出すると良い。	第4章 計画の推進 1 計画の推進 体制（P37）	次回高砂市商業調整活性 化調整会議の委員改選時に 向けて、若年経営者の発掘 を検討します。	なし
2	大型商業施設は、永久に継続する ものではなく、あくまでも民間なの だから頼りにしてはいけないと考 える。	第3章 市内主要地区重 点施策（P36）	大型商業施設（アスパ高 砂）は、商業・業務・文化 等の複合的機能を備えた本 市の拠点となる商業施設で あることから重要な役割を 担っています。 また、商店街（個店含む。） とともにそれぞれが個性と 魅力を創出し、求められる 役割を果たしていくこと で、市内の商業活性化が図 られることから、市として も両者の経営継続を支援す る有効な施策を検討してい く必要があると考えます。	なし
3	「商業環境整備の推進」を実現する ことが急務。 一過性のイベントやお祭りごと では商売につながることも一時的、 限定的である。 活気ある商業者の集団（個店の集 まりでも）がそこにあってこそ、二 次的な使命として、まちと一体にな った催しや地域活動への参加が出 来ると考える。	第2章 商業活性化の基 本理念と基本目 標 基本方針3 創業や頑張る事 業者への支援の 拡大 （4）商業環境 整備の推進 （P33）	商店街に来街しやすい環 境を整備する取組を検討し ます。 具体的な支援策は実施計 画にて示していきます。	なし

	意見の趣旨	項目	市の考え方	案の修正
4	市内主要地区重点施策の高砂地区の活性化についてだが、具体的にどのように検討していくのか。銀座商店街の場合、無料の駐車場がなく、車で行きにくいことも衰退の原因ではないのか。市民アンケートにもあるが、駐車場や駐輪場の利用が求められている。まず、買い物がしやすい環境を整えるべきではないか。	第3章 市内主要地区重点施策(P36)	駐車場や無料休憩所の設置を含め、商店街に来街しやすい環境を整備する取組を検討します。 具体的な支援策は実施計画にて示していきます。	なし
5	高砂町で西友の撤退で「買い物難民」という言葉が出るという苦境の状態とあるが、生活必需品を求めらるなら一番身近な銀座商店街を利用してはどうか。銀座商店街の活性化が、高砂町の買い物難民の解消に繋がると考える。	第2章 商業活性化の基本理念と基本目標 基本方針2 (1)地域の魅力を活かした商業地の創出 ②(市内全体)高齢者サービスに徹底的に特化した商店街! (P32)	サンモール高砂跡地については、商業施設としての活用について所有者に対して、早期着手の要望をしていく一方で、買い物弱者への対応については、バリアフリー化、買い物の荷物を届けるサービス、無料休憩施設の設置など、商店会等と連携し取り組んでいきます。	なし
6	加古川市の明姫幹線の側道に比べ、高砂市の明姫幹線の側道には店舗が少ない。明姫幹線側道の耕作放棄地も増えてきており景観も悪化している。商業地としての利用推進が必要と考える。	第2章 商業活性化の基本理念と基本目標 基本方針3 創業や頑張る事業者への支援の拡大(P33)	明姫幹線側道沿いの商業地としての利用についてはそのすべてが民地であることから本計画内では明記しておりません。 今後、明姫幹線側道沿い遊休土地に関しての需要動向に注視し、必要な施策取組を検討していきます。	なし

	意見の趣旨	項目	市の考え方	案の修正
7	<p>商業活性化計画となっているが、計画内容は物販を中心とした事業者向けの計画になっているように感じ、飲食・卸・サービス等の事業者に対する計画が抜け落ちているのではないか。</p> <p>また、随所に商店街について述べていることと大型チェーン店、フランチャイズ店など消費者の利用頻度、消費額の大きい店舗等をどのようにしていくかも含め、高砂市全体の商業についての活性化を計画しているものになっていないのでは。</p> <p>商店街を活性化させるのであれば、本件の商業活性化基本計画と分け商店街活性化計画を策定すべきではないか。</p>	【計画全般】	<p>本計画は、特定の業種に対するものではなく、商業者全体の活性化を目的として策定しています。</p> <p>ご指摘のとおり、商店街に偏ることなく、大型商業施設を含め市域全体の商業の活性化を目標に、商業に関わるすべての者が協働し、一体となって推進していきます。</p>	なし
8	<p>第2次の方針の中で行う各項目は、誰が実施するのか分かり難いと感じる。</p> <p>仮に事業者が実施した場合に、市がどのような具体的な支援を実施するのかを具体的に記載しておくべきである。</p>	<p>第2章 商業活性化の基本理念と基本目標</p> <p>4 各基本方針に対する方策 (P 31～34)</p>	<p>各方針の中で行う具体的な取組については、実施計画において各団体（事業者、地域経済団体、市民、行政等）の役割を具体的に示していきます。</p>	なし
9	<p>施策の方向に対する評価だけでなく、それを達成するために実施した具体的な取り組みについて、実績や効果も評価すべきである。</p> <p>その評価で出た課題等を見直すことが、新たな具体的取組の実効性が増すように思う。</p>	<p>序章 商業活性化基本計画の策定について</p> <p>4 第1次高砂市商業活性化基本計画総括評価 (P 3～4)</p>	<p>実施した具体的な取組については追記します。</p> <p>取組の実績及び効果については、第一次基本計画実施計画においても評価し、公表しています。</p>	あり

	意見の趣旨	項目	市の考え方	案の修正
10	<p>30歳代以下、40～50歳代、60歳以上など年代ごとにグラフ化で分析を行うことで、各世代の求めていることが明確になるのではないか。</p> <p>各世代の回答数が同数（同率）程度になるようにし、全体のアンケート結果が特定の年代に偏らないよう努力してみてもどうか。</p>	<p>第1章 商業の現状と課題</p> <p>(1) 令和元年度に実施した消費者及び商業者からのアンケート結果について（P5～11）</p>	<p>回答者を年代別でグラフ化し、世代毎の分析結果を追加記述します。</p> <p>各世代の回答数を横並びにすることは、標本の抽出上困難ではあり、異なる世代の各要望に対して個別の取組を検討実施することも困難であると考えます。</p>	あり
11	<p>「高砂駅付近は、浜手工場への通勤者も多く、収益も見込まれます。銀座商店街等と連携した対応策が求められています。」とありますが、どのように収益が見込めるかの根拠に乏しい。</p> <p>通勤者を対象に収益が上がるのであれば、店舗の撤退もなく、また、魅力があれば、すぐに別の事業者が店舗展開しているものと思われる。</p>	<p>第1章 商業の現状と課題</p> <p>(3) 高砂市の商業施設および商店街の商業圏</p> <p>【高砂市内の現状の商圈について】（P21）</p>	<p>高砂駅付近の浜手工場は、市外から通勤する者も多いため、市内事業者が魅力的な個性を創出することで、来街欲に訴求するだけのポテンシャルを擁していると考えます。</p>	なし
12	<p>基本方針2の(3) 広報力の強化は、表現としては情報発信力の強化ではないか。</p>	<p>第2章 商業活性化の基本理念と基本目標</p> <p>3 基本目標の体系</p> <p>(P30、32)</p>	<p>「情報発信力の強化」に修正します。</p>	あり
13	<p>市域全体の商業についての方針というよりもあまりにも商店街を特定した計画となり過ぎではないか。特に基本方針3の(4)(5)は商店街についてのみ記載されている。市内全体の商業者への支援とはなっていないのは、商業活性化基本計画とはいえないように思う。</p>	<p>第2章 商業活性化の基本理念と基本目標</p> <p>基本方針3 創業や頑張る事業者への支援の拡大（P33）</p>	<p>基本方針3(4)(5)の取組について、市内全体の商業者に向けた内容に修正します。</p>	あり

	意見の趣旨	項目	市の考え方	案の修正
14	観光は商業の活性化と密接に関係するため、同基本計画を進めていただき誘客の促進につなげていただこうお願いしたい。	【計画全般】	観光交流ビューローと密に連携し、地域の魅力を活かしたイベントや事業の開催、PRを行うことで、観光面においてもプラスになるよう努めます。	なし
15	市の計画と言うよりも商工会など参加委員の派遣元組織の意見しか反映されていない印象を受ける。 市内の商業事業者の大部分を占める大型チェーン店の意見が取込めていないのでは。	【計画全般】	本計画策定時において、大型商業施設等の関係者についても意見を聞き取り、反映しています。	なし
16	消費者の意見に関して世代によって課題と要望が異なると思われるが、その様な分析がされておらず、課題解決策が市の現実に即していないまともになっている様を感じる。 要望を世代ごとに整理してはどうか。	第1章 商業の現状と課題 (1) 令和元年度に実施した消費者及び商業者からのアンケート結果について (P5～11)	回答者を年代別でグラフ化し、世代毎の分析結果を追加記述します。 世代毎の要望について整理し、各取組に反映します。	あり
17	10年間の計画となる本計画の策定に当たって、今後10年間に高齢者世代が30%以上に増加する事が分かっているなか、市民生活を向上させるには日々の買い物にも困っている市民に対する生活基盤の立て直し・修復が市総合計画の基本理念に挙げている「誰ひとり取り残さない」を実現する重要な施策であると考えます。 最重要の重点施策として具体的な改善の方向性と実現数値目標とを定めるべきである。	第2章 商業活性化の基本理念と基本目標 基本方針2 地域の魅力を活かした、新たな個性の創出 (P32)	今後ますます高齢化が進む中で、買い物弱者の発生防止が喫緊の課題であると認識しております。 関係機関と連携し高齢者の方々が楽しみながら、安全に買い物ができる商店街と商店のバリアフリー化や、買い物の荷物を届けるサービス、無料休憩施設の設置など徹底した高齢者対応を実施していきます。 数値目標については、具体的指標を設定することが困難ではありますが、アン	なし

	意見の趣旨	項目	市の考え方	案の修正
			ケート調査を再度実施し、高齢者のニーズを把握することで適宜計画の見直しを図ります。	
18	「人口減少や高齢化が進み買い物客が減少する」ではなく、「高齢者の数は10年後も今と変わらず減らないし、馴染みの店を利用したいと思っているが、それらの店が日々の当たり前前の生活が維持できる品揃えが出来なくなったり、歩いて行ける範囲でなかったりすると、高齢者は次第に買い物に利用できなくなってしまう」のが、今起こっている実態ではないか。	第1章 商業の現状と課題 (5) 商業の課題まとめ (P25)	今後買い物客が減少する一要因として、人口減少と高齢化をとりあげたものです。 また、統計データから読み取れる内容ではなかったため、当該項目を削除します。	あり
19	宅配サービス、移動販売、買物バスの要望が多く有る事から、殆どの高齢者が将来の買い物に不安を感じている事がわかる。本当は、歩いて行ける近くに生活を維持できるものが一通り揃っている街を望んでおり、最低限の魚や肉、豆腐、野菜、果物などの生鮮品が品質・価格共に安心出来る店舗が有る事がこれから高齢化が進む高砂市で一番重要な街づくりの姿勢であって欲しい。	第1章 商業の現状と課題 (1) 令和元年度に実施した消費者及び商業者からのアンケート結果について (P5～11)	商店街と商店のバリアフリー化や、買い物の荷物を届けるサービス、無料休憩施設の設置など徹底した高齢者対応を実施し、高齢者が安心して買い物ができるよう、関係機関全体で取り組んでいきます。	なし